

ろうきん物語
—労働金庫の過去・現在・未来—

**山形大学人文学部「連合山形寄付講座」
「労働と生活」第12回2016年1月14日
東北労働金庫山形県本部
本部長 大 泉 敏 男**

I.はじめに

自己紹介・2016年4月採用予定人数など

II.ろうきんの過去と現在

- 1.生い立ち
- 2.国際的評価 (ILO報告書)
- 3.法的位置づけ
- 4.業務
- 5.組織
- 6.東北労働金庫と全国労金の現状

III.ろうきんの現在と未来 (めざすもの)

- 1.生活応援運動
- 2.社会貢献活動
- 3.助け合いの社会づくり

IV.おわりに

自分の頭で考える、自分の足で立つ



I .はじめに

【自己紹介】

- 1977年3月 山形大学人文学部卒業 同年4月山形県庁入庁
(福祉事務所福祉課、建設事務所用地管理課
畜産課、地方事務所農業振興課、林業試験場
総務課、住宅課、空港港湾課、観光物産課)
- 2003年7月 山形県職員労働組合中央執行委員長
- 2008年1月 自治労 (全日本自治団体労働組合)
山形県本部執行委員長
- 2009年11月 連合山形 (日本労働組合
総連合会山形県連合会) 会長
- 2015年6月 東北労働金庫常務理事
山形県本部長



—東北労働金庫の資金量—

東北地方に本店がある58金融機関
(郵貯バンク、JAを除く)の中で預
金・融資ともに第8位の実績です。
(2015年10月末現在)

—就職企業ランキング—

総合第16位 (前年度第21位)

文系では第15位 (同17位)

(日経新聞社調べ、東北地域2016年3月卒業予定者アン
ケート結果、インターネット調査、有効回答数297名)

【2016年4月採用予定人員 31名】



Ⅱ.ろうきんの過去と現在

1.生い立ち①

戦後の混乱期（食糧難・住宅難・物資不足・・・）

勤労者は生活が苦しいのに、金融機関は
勤労者にお金を貸そうとしない

高利貸しや質屋に頼らざるを得ない

生活は困窮極まる

Ⅱ.ろうきんの過去と現在

1.生い立ち②

労働運動の活発化・

労働組合の組織化

生活は限界…

それなら、自分たち
で働く人のための金
融機関を作ろう！



こうして、深刻な社会情勢の下で、自らの手で自らの生活を防衛する必要性を肌身に感じた労働者たちが始めた自主的な労働者福祉運動、その金融部門を受け持つのが「ろうきん」です。

Ⅱ.ろうきんの過去と現在

1.生い立ち③

1950年（昭和25年）年代に岡山県・兵庫県を皮切りに1955年（昭和30年）までに46ろうきんが設立され、1966年（昭和41年）沖縄県が設立され、全国47都道府県全てにろうきんが設立されました。

1950年 9月 岡山労働金庫営業開始

1950年12月 兵庫労働金庫営業開始

**「一人は万人のために万人は一人のために」
ろうきんは生まれました。**

Ⅱ.ろうきんの過去と現在

1.生い立ち④

【山形県内の設立経過】

1951年（昭和26年）7月

県主催労働組合懇談会で労働組合の福祉活動に係わり**福祉対策協議会**の設立決定。

1951年（昭和26年）11月

置賜勤労者信用組合準備会（米沢市）設立

1952年（昭和27年）6月

山形県労働金庫設立準備会結成

1952年（昭和27年）11月

信用組合山形県労働金庫設立

1953年（昭和28年）10月労働者の経済的地位の向上を目的とした**労働金庫法**が**施行**され翌年3月に組織移行を決議した。

2003年10月 **東北労働金庫**誕生

Ⅱ.ろうきんの過去と現在

2.国際的評価～ILO（国際労働機関）報告書①

ILOとは、「いずれかの国が人道的な労働条件を採用しないことは、自国における労働条件の改善を希望する他の国の障害となる」というILO憲章を基に、国際的に協調して労働者の権利を保護しようと活動する国際機関。

ILOの近年の基本理念は、ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事・人間の尊厳に値する仕事）

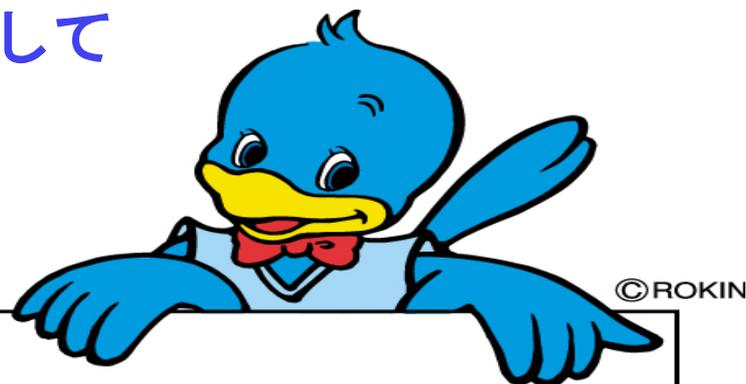
ILOは、2011年来日調査を行い、労働金庫の実態を取りまとめ「**労働金庫：ファイナンシャル・インクルージョンを推進し成功を収めている労働者の物語**」という報告書を作成。

Ⅱ.ろうきんの過去と現在

2.国際的評価～ILO（国際労働機関）報告書②

「労働金庫は、長年その使命に忠実であっただけでなく日本の金融市場においてニッチな市場を開拓し、巨大な商業銀行からの度重なる攻勢も耐え抜いてきた。（世界の他の労働者銀行にあてはまらないこと）

しかし、労働金庫に関する調査を重ねる中で、日本で労働金庫が果たしてきた役割の大きさを考えると、それに相応しい認知度や賞賛を得ていないということは驚くべきことである。」



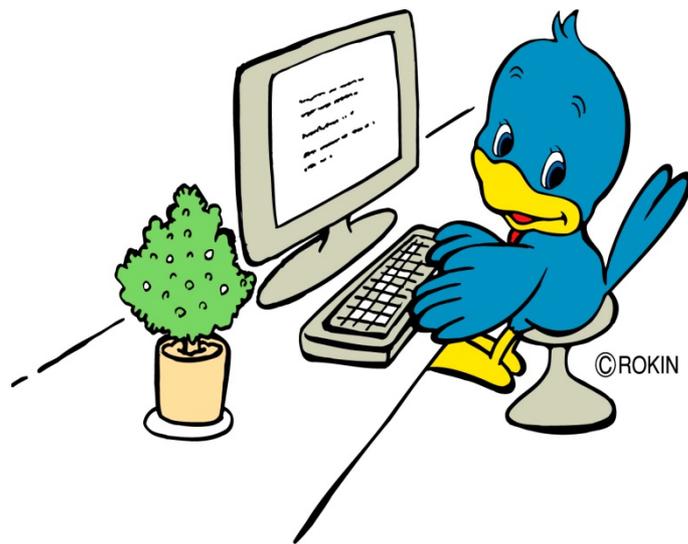
国際的にも高く評価
されているんだよ

Ⅱ.ろうきんの過去と現在

2.国際的評価～ILO（国際労働機関）報告書③

『政治的、イデオロギー的な違いを超えて、福祉は皆のもの』という精神と共に、労働金庫がその経験とビジネスモデルを世界に伝えていくことが理想的であると考えます。

この報告書は、経済危機に耐え、日本において過去60年以上にわたり労働者の生活を支援してきた社会的良心を有する金融機関の成功事例を紹介することを目的としており、労働金庫の経験・知見は他の国、特にアジア・太平洋地域に好事例として紹介された。



II. ろうきんの過去と現在

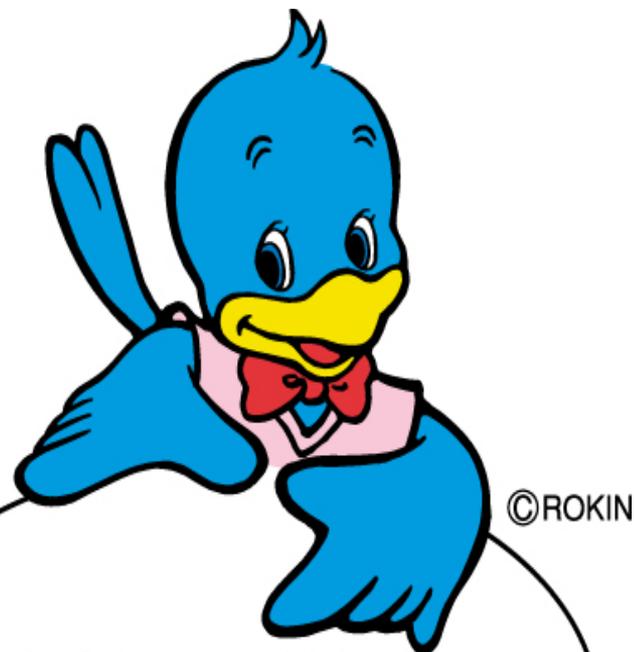
3. 法的な位置づけ①

労働金庫法第1条（目的）

この法律は、労働組合、消費生活協同組合その他労働者の団体が協同して組織する労働金庫の制度を確立して（途中略）**労働者の経済的地位の向上**に資することを目的とする。

労働組合法第1条（目的）

この法律は、労働者が使用者との交渉において対等の立場に立つことを促進することにより**労働者の地位を向上させること**（以下省略）を目的とする。



労働金庫法も労働組合法も労働者の地位向上を目的としている法律だよ。

II. ろうきんの過去と現在

3. 法的位置づけ②

労働金庫法第5条（原則）

- 1 金庫は、営利を目的としてその事業を行ってはならない。
- 2 金庫は、その行う事業によってその会員に直接の奉仕をすることを目的とし、特定の会員の利益のみを目的としてその事業を行ってはならない。
- 3 金庫は、その事業の運営については、政治的に中立でなければならない。

営利を目的とするとは、その団体自体の利益を追求して、その取得した利益を構成員に分配することをいう。金庫は協同組織の原則に基づく金融機関であり、会員に対する奉仕は、事業を通じて直接的でなければならない。



II. ろうきんの過去と現在

4. 業 務

労働金庫法第58条（金庫の事業）

- 1 金庫は、次に掲げる業務及びこれに付随する業務を行うものとする。
 - (1) 会員の預金又は定期積金の受入れ
 - (2) 会員に対する資金の貸付け
 - (3) 会員のためにする手形の割引
- 2 労働金庫は、前項の業務のほか、次に掲げる業務及びこれに付随する業務を併せ行うことができる。
 - (1) 為替取引 以下省略

会員とは

労働組合、消費生活協同組合、公務員の職員団体（労働組合）と共済組合等。

II. ろうきんの過去と現在

ろうきんと銀行の違い

ろうきん

協同組織

- ・1会員1票制により、会員(勤労者団体)自らが平等に運営に参加
- ・営利を目的とせず、剰余金は会員に還元

福祉金融

- ・勤労者を中心に融資
- ・勤労者の生活・福祉の向上ニーズに応える

銀行

株式会社

- ・1株1票制により、株式持ち高の多寡が運営を左右
- ・利潤追求を目的とし、利益は株式持ち高に応じて株主に配当

企業融資

- ・企業を中心に融資
- ・企業の資金ニーズに応える

ろうきんの商品・サービス内容は、銀行とほとんど同じです。
しかし、基本スタンス(目的・運営・運用)がまったく異なります。

II. ろうきんの過去と現在

5. 組織

全国に47労働金庫があったが、
現在は合併により13労働金庫



II. ろうきんの過去と現在

6. 東北労働金庫と全国労金の現状

東北労働金庫		全国の13労働金庫
1兆7,340億円	預金額	1兆8,542億円
1兆1,034億円	融資額	1兆1,736億円
1,199人	職員数	10,780人
6,276会員	会員数	54,762会員
753,775人	間接構成員数	10,368,882人
64億円	出資総額	958億円
9.88%	自己資本比率	11.42%
0.98%	不良債権比率	0.70%
42億円	純利益	316億円
79店舗 (ｲﾀｰﾈｯﾄ東北支店を含む)	支店数	640店舗

2015年3月末実績

Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの）

1. 生活応援運動の展開

生活応援運動とは、勤労者の生活のうち「お金」にまつわる諸問題を、勤労者のための金融機関であるろうきんが会員団体および推進機構との連携の下で情報を共有し、相談を受け具体的解決を目指す運動であると定義しています。

【生活応援運動の骨子（3本柱）】

生活設計サポート

資産形成プランの提案

生活防衛サポート

消費者教育の実践

生活改善サポート

多重債務者の救済

Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの） 生活応援運動の具体的な取組み

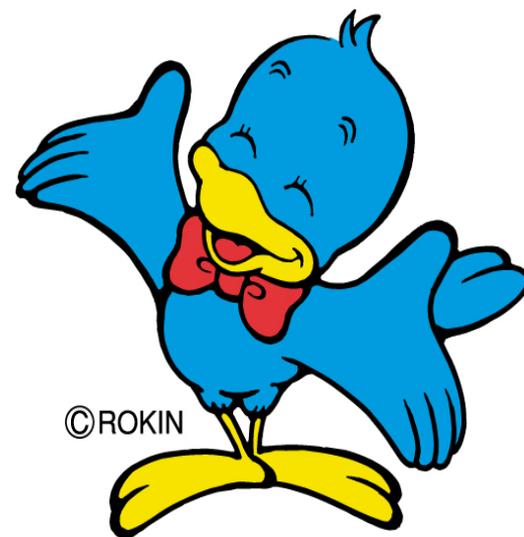
(1) 返済計画見直し相談会の継続取り組み



(2) 高金利からの借換え



(3) 生涯生活設計（トータルライフプラン）支援



Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの） 生活応援運動から創設した制度の一例

お給料の受取りも
お得!
便利! ろうきんで!

ろうきんキャッシュカードなら、
コンビニエンスストア等の

ATMの
お引出し手数料が

0 円

生活応援リンク
ろうきん

Ⅲ. 若き人の現在と未来（めざすもの） ライフイベントとその資金目安①

18歳～

- ・ 山大入学
- ・ 学生生活スタート

22歳～

- ・ 卒業・就職
- ・ 人生の目標

25歳～

- ・ 結婚
- ・ 社会的基礎確立

ライフプランニング

ライフプランニングとは「生涯にわたっての生活設計」です。長い人生を有意義で充実したものにしていくために、ご自分の暮らしをどのように創造していくかを総合的に検討する人生設計です。

結婚費用平均額（一組）
総費用541.2万円
（結婚情報誌「ゼクシィ」調べ）

労金の応援商品

入学金・授業料・生活費の準備
車購入、就職

財形貯蓄（一般財形）、教育
ローン、マイカーローン、マ
イプラン、NISA活用の投資信
託、ふるさと奨学ローン

Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの） ライフイベントとその資金目安②

30歳～

- ・ 出産・子育て
- ・ 家庭生活のプラン実行

分娩・入院費用38.7万円
 出産準備品購入費用他28.1万円
 （結婚情報誌「ゼクシィ」調べ）

35歳～

- ・ マイホーム取得
- ・ 人生の幅を広げる充実期

	建売住宅	マンション
年齢	37.8歳	40.6歳
購入価格	3,206万円	3,757万円
手持金	399万円	741万円
	（住宅支援機構調べ）	

労金の応援商品

結婚費用・出産・子育て

財形貯蓄（一般財形）・フリーローン等

マイホーム取得費

財形貯蓄（財形住宅）
住宅ローン・無担保住宅ローン

Ⅲ.ろうきんの現在と未来 (めざすもの) ライフイベントとその資金目安③

(文科省調べ 子供の教育資金)

40歳～

- ・ 子供の教育期
- ・ 人生の幅を広げる充実期

幼稚園から高校まで全て公立
約504万円

45歳～

- ・ 子供の教育期
- ・ 生きがいつくり

幼稚園と高校が私立
約757万円

国立大学
初年度標準額約83万円

私立大学
初年度文科系学部 約123万円
初年度理科系学部 約163万円

労金の応援商品

子供の教育費

財形貯蓄・エース預金
ふるさと奨学ローン (教育ローン)

Ⅲ. 老うきんの現在と未来 (めざすもの) ライフイベントとその資金目安④

50歳～

- ・ 老後生活の準備
- ・ 社会活動充実期

60歳～

- ・ 老後生活スタート
- ・ 老後の夢に向かって

ゆとりある老後生活費 月額35.4万円 (生命保険文化センター調べ)

厚生年金モデル支給額 月額23万円 (厚生労働省調べ)

労金の応援商品

老後生活費

財形貯蓄 (財形年金)、エース預金
特別金利定期預金、投資信託

Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの）

2. 社会貢献活動① 東日本大震災支援活動

特別災害ローン（2016年3月まで）

生活再建および復旧支援 4 4 3 億円

二重ローン問題への対応

相談会の開催、店舗での相談受付

義援金振込口座への振込手数料免除対応

復興支援助成金制度

2012年度スタート毎年度1団体30万円×10団体

震災遺児進学支援金の取組み

あしなが育英会「東日本大地震・津波遺児募金」を受付

Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの）

2. 社会貢献活動② 多重債務者への支援

【貸金業法の改正（2010年6月施行）】

総量規制 原則として貸金業者からの総借入残高は年収の3分の1を超える貸付けは禁止された。

上限金利の引下げ これまでの29.2%から引下げられた。

10万円まで年利20%

100万円まで年利18%

100万円以上年利15%

罰則強化 刑事罰対象の拡大と重罰化（懲役5年から10年）

【弁護士・司法書士・県・市町村との連携】

【高金利からの借換】

債務整理資金融資・債務整理後の生活支援融資

勤労者生活支援特別融資等

Ⅲ. ろうきんの現在と未来（めざすもの）

2. 社会貢献活動③ 山形県本部の取組み

自治体提携融資制度

（勤労者への生活応援ローン）

県内全ての35自治体とろうきんが提携して行う融資制度で、自治体よりお預かりする「預託金」をベースに低利な融資を提供することで勤労者の生活を支援しています。

ふるさと奨学ローン利子補給制度

ローン対象の方が卒業後山形県内に就職・就業した場合、それ以降の利子に対して返済終了まで元金300万円を限度に年2.0%の利子相当分が公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会より補給される制度です。

Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの）

2. 社会貢献活動④

ふれ愛預金とふれあい募金会

ふれあい預金は、地域の社会福祉施設等の支援を目的として、お預かりした定期預金の店頭金利から30%を減じた金利に設定し、その差による利息相当分に当金庫からの拠出金を加算した額を東北6県の福祉団体・福祉施設に寄付しています。

今年度は、東北6県で44団体に407万円（累計142団体 1,367万円）を贈呈してきました。うち山形県内では15団体に対し139万円（山形県労働金庫時代からの県内寄付累計534団体7,657万円）を寄付しました。

Ⅲ.ろうきんの現在と未来（めざすもの）

2. 社会貢献活動⑤ 山形県本部の取組み

ろうきん杯学童軟式野球大会

青少年の健全な精神と身体の育成・地域社会の発展に寄与することを目的に1988年より毎年地区大会・県大会を開催しています。

勤労者体育祭（軟式野球、ソフトボール、ボウリング、卓球等）

スポーツを通じて勤労者の親善と体力向上を図り、社会の発展に寄与することを目的に今年で68回目の歴史ある大会となっています。主催団体の一員として運営しています。



Ⅲ. ろうきんの現在と未来（めざすもの）

3. 助け合いの社会づくり

< ろうきんの理念 >

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。ろうきんは、誠実・公正・および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

IV. おわりに

○皆さんが社会変革の担い手・主人公

○自分の頭で考える、自分の足で立つ

○そのためにどうするか

歴史に学ぶ・不易流行

(松尾芭蕉 俳諧の精神)

失敗から学ぶ・チャレンジ精神

人間から学ぶ・助け合い支えあう精神